

特定非営利活動法人 ふれあいの家—おばちゃんち  
140-0001 品川区北品川2-28-19 品川宿交流館3F  
Tel. & Fax. : 03-3471-8610 E-mail : fureai@obachanchi.org  
http://obachanchi.org/ 発行日 : 2019. 06. 01



2019年度定期総会が下記の通り開催され、第1号から第6号までの案件が採択されました事をご報告します。

- I 日時 2019年5月19日(日) 15:30~17:30  
II 場所 中小企業センター レクホール  
III 出席者数 正会員41名中41名(委任状・書面評決10名)  
IV 審議事項  
第1号議案 2018年度 活動経過報告  
第2号議案 2018年度 決算  
第3号議案 2019年度 活動方針(案)  
第4号議案 2019年度 役員体制(案)及び組織図  
第5号議案 2019年度 予算(案)  
第6号議案 定款変更について

## 2018年度活動経過報告

基本的な事業運営は今までと変わらず続けることができ、大きな事故なく1年を終えられた。

各事業はそれぞれ自立的に運営され必要に応じて連携をしてきた。立上げ初期からのメンバーの中には、引退、卒業という申し出もあり、自ずと次世代への引き渡しが必要になってきている。次世代人材はまだまだ足りてはいないが、担おうとする顔も見えてきていた1年だった。特に外遊び、冒険あそび場推進を主たる目的としたNPO法人そとぼよ設立には、おばちゃんちとして応援し、個別には理事や事務局として参画している者もいる。おばちゃんちのつながりの周辺で、外遊び、冒険あそび場推進の次世代を担う法人が生まれ、今後の活躍が期待される。

他団体とのネットワークは更に進んだ1年だった。子若ネットワークは区からの信頼もあつく、ネットワークならではの力を発揮し次年度はさらに事業が拡大する。また、あかちゃん木育ひろば事業の公募があった時に募集先からも協力を求められ、ふさわしい団体・個人が応募することを後押しサポートしたことで、多くの身近な団体・個人が事業先に決まった。そして、その団体・個人のつながりを作る輪におばちゃんちも加わり、子育てメッセや他のイベントでもネットワークされたことで大いに力を発揮していた。それは、この事業の提供者公益財団法人オイスカからも高く評価された。

被災地支援は、日本冒険あそび場づくり協会、共催事業を通して行った。

### I. 2018年度活動

#### 【事業】

1. 既存事業の安定した運営を図ると共に、新規事業展開を視野に入れて、できることは動き始める。

1-① 各事業が「できることを、できる人が、楽しく」を大切に、おばちゃんちらしさを保ちながら、更に充実していくように、各チームで工夫していく。

> そのように心がけて事業をおこなってきた。

1-② 「求められているもの、やりたいこと」のまのちの声やスタッフの声に耳を傾け、新規事業展開について考え、できることを始めていく。

> そのように心がけて事業をおこなってきた。

1-③ 他団体との連携を大事にし、他団体が運営した方がよいものを見極め、発展的に譲り渡していく。

> そのことを視野に入れて、NPO法人そとぼよの立ち上げに協力した。また、しながわこども冒険ひろばの乳幼児親子対象事業「そとぼよ！」を2019年1月より委託した。

1-④ 品川宿おばちゃんちの再移転先として、『預かりエリア、親子ひろばエリア、カフェエリア』の三つの エリアを持つような空き店舗を探す。

> 候補の一つは可能性がないことがわかった。不動産屋にも相談し物件を探している。

#### 【組織】

2. 安定した運営と更なる発展を見ずえて、財政的な見通しと、次世代人材育成に努める。

2-① 各事業の次世代リーダー、スタッフの発掘、育成に努め、世代を越えて互いに育ちあう関係を大切にしながら、次世代に引き継げるものから引き継いでいく。

> 各事業の中で人材の確保やバトン移譲もでき始めている。

2-② 品川区との信頼関係の上に立って協働関係を深め、受託だけでなく共催事業展開の可能性も探る。

> 子育てメッセでの協働関係が進んだ面がみられる。冒険ひろば事業においては、様々な課題を区と一緒に解決していくように心がけてきた。子若フリースペース事業では、区との信頼関係が深まり、小学生の保護者向けNPの共催実施という新たな事業展開ができた。

2-③ 新規事業、新拠点のための資金を活かしていく。

> 活かすまでには至っていないが、準備をしている。

2-④ 若い世代、学生世代との出会いの機会作りを努める。

> 冒険ひろば事業では、複数の大学との関係が進み、学生の実習機会が増えた。しかし、そこから恒常的なボランティア活動等にはなかなかつながらない。

#### 【ネットワーク・地域連携】

3. 個人、グループ・団体、行政、企業との信頼関係に基づくネットワークと連携を大切にする。

3-① 様々な立場、年代の人が信頼関係をもって繋がり、仲間として、共に子育て・育ちにやさしいまちづくりをすすめるように、個人とグループ・団体、あるいはグループ・団体間を繋ぐコーディネーターの役割を担っていく。

>できる限り担っている。

3-② おばちゃんちの事業展開拠点の各地域（北品川、中延、八潮、新たに南大井）で、おばちゃんちの活動を理解し、協働する個人・団体との関係を広め深め、まちづくりをすすめる。特に中延地域には、子若ネット団体が集まっているので、そのネットワークを活かして事業を展開していく。

>北品川でのような関係はなかなか作れないが、各地域の関係づくりは大切にしている。

3-③ おばちゃんちがつながるネットワーク（子ネット、子若ネット、協働ネットワーク品川、しなプレネット等）を活かし、さまざまな課題を協働して解決していくことに努める。

>おばちゃんちができることで、関わるようになってきた。外遊びを推進する団体の後押しもあり、NPO法人そとぼよ設立にいたった。また、乳幼児親子ひろば事業を運営する団体との繋がりも広がっている。新たに、しながわ木育ネットワークもでき、そのつなぎ役は担えた。品川子育てメッセの中では、虐待防止推進講演会を4つのNPOで企画運営をした成果があった。

## II.組織運営

(1) 各事業の自立的運営と相互の連携体制の確立

>引き続き努めていく。特筆すべきことは特になし

(2) 事務局事務の明確化

事務作業の明確化と共に簡素化、効率化に努める。

>事業が多く活発に動いているだけ、事務局の担うところも大きく、明確化、簡素化、効率化はなかなか難しい面がある。時期によって一部の事務局員に負担がかかりすぎることが見られた。

## III.事業の実施

(1) ふれあい広場 <つどい、くつろぎ、元気がでる>

① ホットほっとHOT（独自事業）原点的な事業として、9月の宿場まつりの日に品川宿おばちゃんちで行う。赤ちゃん木育ひろばを行い、近隣と遠方の両方の利用があり、ゆったりとしたよい場になった。

② みこちゃんち（独自事業）預かりの子の生活リズムとの兼ね合いを考慮しながらおこなう。特に子ども、お母さんとも、食事時のマナーについて、いっしょに考えていく場とする。近隣のお弁当屋さんからのPR有。ほっぺに預ける前、引越してきてすぐの利用が喜ばれている。相談や愚痴ですっきりしたとの声。預かりと同時に進行には手狭なので、人数見直し広い場所の確保が必要、ひろばの拡張を検討していきたい。

③ しょうちゃんち（独自事業）インターネットで情報を得て利用し始める親子が多いが、その子育て世代のパパママに寄り添い、楽しい育児ができるような場にしていく。丁度良い人数の参加で和やかな雰囲気になっている。栄養士、保育士への相談が多い。終わり前の手遊びも好評。10時前からの利用などイレギュラーな要望があったが、ニーズに合わせて無理なく対応できた。

④ なんくるないさ〜（独自事業）「おちゃのま」事業をサポートしていき、十代当事者や関わる人が、思春期に関する情報や状況を知ることで、誰もが生きやすくなる場所を作っていく。おちゃのまとして展開。中高生の居場所と思春期の親の繋がりの場になっている。コミュニティースクール関係者や、身近な子育て先輩の方々からの話を聞いた。

⑤ 北浜こども冒険ひろば（品川区管理運営業務委託事業）午前中事業（第1, 3水曜日）を見直し、地域の親子、通りすがりの人でも入りやすい場にする。防災拠点となれるような工夫 スキルアップ講座開催。しながわ冒との関わり合い、意識共有。乳幼児親子と大人が増え、高学年は減少。滞在時間は長くなっている。ギャングエイジの復活、集団の変化も見られ、豊かなかかわりの場としての広がりが見られる。午前事業を「お外であそぼう!」という呼称にし、スタッフ主導で実施。研修は充実。

⑥ しながわこども冒険ひろば（品川区管理運営業務委託事業）隣接する新しい遊び場がオープンしても、自由な遊びを保証。安全管理への配慮。研修、振り返りを充実させチームとして職務に当たる。区の防災事業との連携をはかる。隣の遊び場も開設され、益々親子連れでにぎわう。常連の親子、子、大田区からの利用も増。それに伴う課題も出てきている。子ども育成課と意思疎通不十分で遊具作り替えが中断している。火曜日のそとぼ〜よ! 事業は充実し、1月より運営をNPOそとぼよ一に委託した。

⑦ ほっと・サロン@八潮にじっこ（品川区社会福祉協議会助成事業）八潮に根付いた運営を目指し、地元利用者、運営者を増やす。多世代交流の場に。2人の子連れでも気軽に来られる、気になる親子を誘って来られる場に。外遊びも楽しめている。オーベル、しな冒との行き来も見られる。八潮音楽祭には今年度も参加して好評だった。

⑧ おうちひろばオーベルにじっこ（マンション管理組合委託事業）主に0才児親子の出会いと情報交換の場になるように運営していく。回数、時間は減少したが、ゆっくり交流し、住人同士の縦の関係もできるよい場になっていた。にじっこ@八潮やしな冒を紹介したり、おばちゃんちの活動趣旨や考えを伝えることもできた。

⑨ 忍者修業の旅（協働事業（礎会））もっとまちとの関わりを深めるイベントにしていく。春は入門、秋は中学年以上のグループ対象。礎会、さらに品川こども劇場とも共催することができた。秋の回は青の巻という新たな取り組みで参加者は少なくなったが、まちの人との交流はさらに深まった。

(2) あずかり広場 <困った時はおたがいさま>

① 子育て交流ルーム「品川宿おばちゃんち」ほっぺ（品川区助成事業）年齢の高い幼児への対応工夫。みこちゃんちとの連携。年度末利用券の再検討。基本である短時間預かりを多くの方に利用してもらえた。緊急対応にも応えられた。子どもの成長の姿もあり、またスタッフも子どもたちとかかわっていく中で成長しあえた。

② 子育て交流ルーム「昭和通りおばちゃんち」わっこ（品川区助成事業）大きい子受入れの工夫をし、小さい子も大きい子も温かい心にふれ楽しく過ごせる場になるように。就労での預かりが減り、本来の目的での預かりに応えることができた。土曜日、長期休暇中の大きい子の預かりが多く、様々な工夫をした。すまいるとの交流もあった。防災、防犯は課題がある。

③ 派遣保育「えくぼ」（独自事業）新規団体を発掘する。研修を充実させ、『良質なおばちゃん』になれるように取り組んでいく。若いスタッフが増えた。保育を安心して利用してもらっており、ふりかえり会、おかえりなさい会の満足度は高い。新団体は発掘できず、保育依頼数は減少している。担当事務局一人体制は改善課題。

(3) まなびあい広場<みんなでいきいき子育て自分育て>

① 子育てサポーター養成講座（10回30時間/独自事業）

広報を工夫し受講生増をめざす。新たなパートナー団体探しは不調だったが引き続き探しつつ、区に共催申し入れをする。講座内容に今の子育て環境、保護者理解の内容を加味する。受講者が比較的若く、多く、意欲があり出席率は高かった。会場は4箇所に渡ったが、ボラセンの協力があって大井町周辺で完結できた。仲間づくりワークは会場が狭く、十分にはできなかった。

②「完璧な親なんていない」親支援講座（NP講座）（7回×1クール/品川区管理運営委託事業）区主催の継続。この対象のものは年間1回なので、別対象NP（③）を続けて開催し増やしたい。毎回欠席者がいたがフォローし残りある講座になり、その後の関係にもつながっている。双子連れ、遠方から2人連れの方を送迎したのもよかった。児童センター職員研修でNPIについて伝える機会があり、継続して行えるとよい。

③ 小学生保護者支援講座 対象、回数、時間帯は変えず、タイトル、定員（15名）、時期（秋）、会場（広範囲から行きやすい）等は変更する。子ども育成課に共催の申し入れをする。さらに別年代対象講座開催も検討。区と共催することができた。参加者は2名だったが、「登校しづり」という共通するテーマで行い、フリースペースの紹介もでき、2人にとって有意義だった。開催時期や広報面について要検討。

④プレイパートナー養成講座（3回～5回/独自事業）「プレイワークって？」の成果を受けて内容を検討する。5回目のバル企画も盛り込む。NPOそとぼよと協力して企画、その企画会議が研修の場になった。プレイワーカーが語り、学びを深めた。バルで母親3名が登場し講座の深まりを感じる。目指すもの、日時、準備など要検討。

⑤ 相談事業「えがお」（随時/品川区助成事業）専門的な相談につなぐ必要がある場合どうするか？を共有できるように。記録の方法の検討。子育て交流ルームを中心に、子育て全般、食事のことなど多くの相談を受けてきた。様々な課題のある家庭も少なくなく、守秘義務を守りながら情報を共有、連携しながらよりよい対応に心がけた。

⑥ らへん・ういず（随時/独自事業）パンフレットの更新し自主活動サポート、講師派遣等を行う。また各分野のスペシャリスト「ういずサポーター」リストを作成しHPでも発信。昭和通りおばちゃんち多目的室の利用（午前・夜間）促進。

> 十分な取り組みはできなかった。今後どうしていくか要検討。多目的室の利用はほとんどなかった。

⑦ 親子広場事業交流・学習会（学期1回/独自事業）より多くの担当者が参加しやすいような場所、時間に、また残り多いものになる内容の工夫をする。

> 3回開催したが毎回参加率も高く、有意義な学びと交流の場になっている。今年は初めて講師を招いて学び、具体的な事例でのワークショップをおこなった。

#### （4）つながりあい広場＜点から線、面へのネットワーク＞

##### ① ニュースレター発行他広報（独自事業）

\* 家型パンフレット>現在の物がなくなり次第、更新発行する。  
\* ニュースレター>子育て関係動向にアンテナを張り、タイムリーな読み物記事を心がける。

\* いろいろな立場の人に情報を届ける努力をする。事業間で著しい温度差が出ないように配慮し、利用者層にとってわかりやすい発信を心がける。個人SNSの活用には各自留意する。

\* NL通常号2号と総会報告号を発行。Webはアクセス数は減っているが、新規は増えていて、長滞在の傾向。モバイル率が8割を超え、それを視野に入れた対策の継続が必要。

##### ② 各種ネットワーク参加

\* 子育て・子育てにやさしいまちづくりネットワークINしながわ（子ネット）事務局担当 企画への参加を働きかける。互いの活動をもっと知れるように冊子作成を検討。「区民版子ども子育て会議」のように“こうありたい”姿を考えていく機会になると良い。子育て支援包括センター（子ども総合センター等）を視野に入れる。吉田氏から子育て政策の展望のお話を伺った上で、児童相談所移管のお話を聴き、児童相談所が移管されるにあたり、市民としてもどう協力していけるのかを考えるきっかけとなった。

\* 子ども若者応援ネットワーク（団体参加）この繋がりを活かし、おばちゃんちの若者支援も考えていく。（区委託子ども若者フリースペース事業拡大、なんくるないさへの連携等）区のフリースペース事業が3日に増え、利用者も多くなっている。実際の運営はNIRE中心だが、ネットワークで受託していることを活かして運営している。

\* 協働ネットワークしながわ（団体参加）市民活動団体、企業、行政間の関係がより豊かになり、品川区の協働事業が更に充実し、さらには中間支援事業がすすむように、団体としても参加し、個人運営委員も送り出す。運営委員として幾島が参加。区の予算も増えより充実した講座企画などに参画することができた。

③品川子育てメッセ（共催/品川子育てメッセ実行委員会・品川区）11月9日（金）きゅりあん開催 継続可能なメッセを目指しOGメイン+新規で実行委員会。会場は大きくは変更せず、長滞在が多く、参加者の満足度は高かった。区職員が実行委員会に継続して出席、協働が進んだ。新たに小ホールで虐待防止推進講演会を4 NPOが企画運営した。

④虐待防止推進月間講演会「ひろげよう つなげよう 子育ての輪」（品川子育てメッセ内）企画運営：しながわこども劇場ウーヴ、しながわチャイルドライン、ふれあいの家-おばちゃんち 11月9日（金）きゅりあん小ホール 初めての試みだったが、4団体の結束も深まり、有意義な講演会が実現できた。

⑤ HSBCコーポレート・サステナビリティパートナーシップ事業（協働事業）都内全域への取り組みはに任せて、品川区内での広がりに努めると共に、旧東海道での担い手の発掘に努め、年間3回は行う。HSBCより寄付を受け、TOKYOPLAYが実施し、さらに道あそびが広がりを見せている。区内でも、品川こども劇場、ショーグン事務所、商店街と連携して実施された。

#### （5）きかくの広場 <智恵と工夫を持ち寄ろう>

おばちゃんち内外の声をよく聞き、やるべきことでできるところがあれば始めていく。

## IV.行政、地域、他団体とのネットワーク

### <共催事業>

#### ①にじっこコンサート <にじっこコンサート実行委員会>

2018年度は開催はなかった。

#### ②あそびうたフェスティバル<あそびうたF実行委員会>

2019年2月3日（日）荏原文化センター大ホール

#### ③子ども・若者応援セミナー<子ども若者応援ネットワーク>

6月30日（土） 中小企業センターレクホール

大橋史信さん「若者は何を感じ、何を考えているのか？」では、参加当事者が語る時間もあり、交流しながら学び場となった。当日参加者が多く、席が足りなくなるほどだった。

## 2018年度決算

財政状況等については、NPO法人データベース <http://www.npo-hiroba.or.jp/search/zoom.php?pk=22104>  
(日本NPOセンター)に掲載、公開中。定款により、事務所の所定の場所にも掲示しています。

## 2019年度活動方針

児童虐待のないまちを願い、「子どもの笑顔を真ん中に、心豊かに暮らせるまちづくり」をすすめ、「あたたかな風」が品川のまちに吹き続けるよう、「できることを、できる人が、楽しく」、「ふれあい、あずかり、まなびあい、つながりあい」活動をおこなう。各部署の自立的運営と相互連携とのバランスを保ち、事業が安定して継続できるよう工夫し、組織基盤強化に努め、さらに次世代のリーダー、スタッフの発掘、育成を進める。

新たな拠点づくり(品川宿おばちゃんちの再移転)を目標に、その目的や事業内容の検討、場所探し、必要に応じて他団体との連携を進めていく。

他団体や地域との協働・協力の関係を更に広め、深め、様々な分野のネットワークへ参加し、一団体ではできない事業展開をおこなう。また新たな団体、グループ活動のサポートにも力を入れる。豊かなつながりがまちづくりに欠かせないことを自覚し、つなげる、つなげる役割を担っていく。

### I. 2019年度活動

#### 【事業】

1. 既存事業の安定した運営を図ると共に、新規事業展開を視野に入れて、できることは動き始める。

1-① 「できることを、できる人が、楽しく」を大切に、チームで工夫し各事業の充実をはかる。

1-② 「求められているもの、やりたいこと」の声に耳を傾け、新規事業展開を考へてできることから始める。

1-③ 他団体との連携を大事にし、他団体が運営した方がよいものを見極め、発展的に譲り渡していく。

特に外遊び、冒険あそび場事業推進は自ら進めると共に、NPO法人そとぼーよが社会的な信頼を得られ、力を発揮できるようにバックアップしていく。

1-④ 多世代交流、子育てひろばの充実を視野に入れ、品川宿おばちゃんちの再移転先として、『預かり、親子ひろば、カフェ』の三つのエリアを持てるような空き店舗探しに力を入れる。

#### 【組織】

2. 安定した運営と更なる発展を見すえて、財政的な見通しと、次世代人材育成に努める。

2-① 各事業の次世代リーダー、スタッフの発掘、育成に努め、引き継いでいく。

2-② 品川区との信頼関係の上に立って協働関係を深め、委託だけでなく共催事業の展開をはかる。

2-③ 新規事業、新拠点のための資金を活かしていく。

2-④ 若い世代、学生世代との出会いの機会を作り、継続した活動参加につながるように努める。

#### 【ネットワーク・地域連携】

3. 個人、グループ・団体、行政、企業との信頼関係に基づくネットワークと連携を活かし、さらに多角的に事業が展開できるようにする。

3-① 様々な立場年代の人が信頼関係をもって繋がり、仲間として、共に子育てにやさしいまちづくりをすすめられるように個人とグループ・団体、グループ・団体間を繋ぐコーディネーターの役割を担う。

3-② おばちゃんちの活動を理解し、協働する個人・団体との関係を広め深め、各地域(北品川、中延、八潮、南大井)でのまちづくりをすすめる。

3-③ おばちゃんちがつながるネットワーク(子ネット、子若

ネット、協働ネットワーク品川、しな木ネット、子ども食堂ネットワーク、文化活動のネットワーク(にじっこコンサート、あそびうたフェスティバル、ふれあいこどもまつり等)、児童虐待防止推進のネットワーク等を活かし、さまざまな課題を協働して解決していくことに努めると共に、より良い品川児童相談所開設に市民として努める。

3-④ 品川区区内での子育てひろば事業が充実していくよう、品川区とも協働し、団体ネットワークを活かして取り組む。

3-⑤ 品川区の外遊び環境がもっとよくなるように、NPO法人そとぼーよ、他の外遊び、冒険あそび場推進団体との協働関係をさらにすすめる。

### II. 組織運営

(1) 各事業の自立的運営と相互の連携体制の確立

(2) 事務局事務の明確化：事務作業の明確化と共に簡素化、効率化に努めるとともに人員補強をおこなう。

(3) 予算化への対応

### III. 事業の実施

(1) ふれあい広場 <つどい、<つろぎ、元気がでる>

① ホットほっとHOT(独自事業)宿場まつりの日に品川宿おばちゃんちで行う。「出張おもちゃひろば」を野村さんに依頼予定。

② みこちゃんち(独自事業)利用者が、ホッとくつろげて、つながりが広がり、重荷を少し降ろせる場に。ひろば事業と預かりを分けられる工夫を。預かり人数や年齢制限について検討する。

③ しょうちゃんち(独自事業)広報活動を積極的におこなう。パパママに寄り添って楽しい育児ができるような場にした。い。※ ②③事業が、国の子育て支援拠点事業としてできないかどうかを探り区にも要望していく。

④ なんくるないさ〜(独自事業)10代の若者当事者の居場所。状況理解を深め、大人も子どもも生きやすい場づくりを目指す。

⑤ 北浜こども冒険ひろば(品川区管理運営業務委託事業)さらなる体験の深まりと広がり。乳幼児の対応。まちとのつながり。防災拠点。外遊び、冒険ひろばの遊びの大切さの発信。スタッフ体制の充実。研修システムの構築。以上を課題とする。

⑥ しながわこども冒険ひろば(品川区管理運営業務委託事

業)利用者の多い中での工夫。目的、意図を伝える。ボラを呼びかけ共に作っていくという意識。区や公園管理者との連携。新人への引き継ぎ、研修充実。スタッフ間意見交換を丁寧に。そとぼへよ事業は年間を通して、NPO法人そとぼへよに委託し実施する。

⑦ ほっと・サロン@八潮にじっこ(品川区社会福祉協議会助成事業)多世代交流ができる場に。居心地のよい場として継続していきけるよう、他団体への移管を検討。

⑧ おうちひろばオーベルにじっこ(マンション管理組合委託事業マンション内コミュニティ形成、情報提供の目的達成、8月までの契約で事業は終了する。

⑨ 忍者修業の旅(協働事業(礎会))春は入門、秋は小学校中学年を対象にし、もっとまちのひとのかかわりを深めるイベントにする。

#### (2) あすかり広場 <困った時はおたがいさま>

① 子育て交流ルーム「品川宿おばちゃんち」ほっぺ(品川区助成事業)余裕を持って楽しく!幼児の受入れにはケースバイケースで対応。広場事業の拡充を視野に入れ、預かり人数、年齢の見直しもする。再移転先をより積極的に探していく。

② 子育て交流ルーム「昭和通りおばちゃんち」わっこ(品川区助成事業)保護者、子ども、スタッフが安心して楽しく。おばちゃん6ヶ条をわっころしく実践。防犯、防災検討。

※ 保育園とオアシスルームが増えていることで、①②の利用数は減ってきている。状況をよく分析し、ひろば事業充実への方向転換をはかるかどうか、判断していく。

#### ③ 派遣保育「えくぼ」(独自事業)

事務作業、団体とのやり取りを事務局内で可視化する。えくぼ心得を作りサポーターで共有していく。連絡会、研修の中で、お互いを知るワークや話し合いを大切にしていく。

#### (3) まなびあい広場 <みんなでいきいき子育て自分育て>

① 子育てサポーター養成講座 10回30時間(独自事業)50代以上の参加が少なくなってきたので、広報が届く工夫をする。各講師に、母親が置かれている状況への理解を深めてもらう視点を入れてもらう。

②「完璧な親なんていない」親支援講座(NP講座)7回×1クール(品川区管理運営委託事業)今年度も区委託事業として1回開催。児童センター職員研修の継続を申し入れ、ネウボラ相談員と連携しての開催も視野に入れ、NP講座が恒常的に年に複数回開催される道を探るべく区に提案。

③小学生保護者支援講座 開催時期、回数の検討。登校しづりに特化した親支援の検討が必要と実感。子若フリースペースでの保護者支援の企画の動きを見ながら、区主催での開催を考える。

④プレイパートナー養成講座 3回~5回(独自事業)効率的で余裕のある取組を。講座の目指すものは2018年度振り返りから反映させる。そとぼへよとの共同開催、役割分担とコミュニケーションを心がける。

⑤相談事業「えがお」随時(品川区助成事業)引き続き、おばちゃんちの各事業の場で、あるいはそこでの人の繋がりから、様々な相談を受け、必要に応じて情報共有、連携、おばちゃんち内事業での受け入れ、他機関の紹介などしていく。

#### ⑥らへん・ういず 随時(独自事業)今後について検討する。

⑦親子広事業交流・学習会 年3回(独自事業)より多く参加できるように日時、会場を設定。内容の工夫、参加者が多くなった場合の工夫をする。やわらかい名称への変更を検討。

#### (4) つながりあい広場 <点から線、面へのネットワーク>

##### ① ニュースレター発行他広報(独自事業)

\*ニュースレター 子育て関係動向にアンテナを張り、タイムリーな読み物記事を心がける。\*いろいろな立場の人に情報を届ける努力をする。

\*web 情報の流れを意識し、わかりやすい情報発信を。事務局内スキルアップ。

##### ② 各種ネットワーク参加

\*子育て・子育てにやさしいまちづくりネットワークINしながわ(子ネット)事務局担当 大きく変わりつつある子育て環境を共有し、今何をすべきかに目を向ける。虐待、DVなど困難な課題を抱える家族支援など広い視点で、区とも連携して。

\*子ども若者応援ネットワーク 団体参加 繋がりを活かし、おばちゃんちの若者支援も考えていく。子若利用保護者、登校しづりなどの保護者支援の事業を担っていく。

\*協働ネットワークしながわ 団体参加 市民団体、企業、行政間の関係がより豊かになり、品川区の協働事業が更に充実するように。中間支援事業の充実のために、団体としても参加し、個人運営委員も送り出し企画に参画。

③ 品川子育てメッセ(共催 品川子育てメッセ実行委員会・品川区)10月18日(金) きゅりあん 新規の実行委員を中心にグループワークを取り入れた実行委員会に。6階は区事業スペース。小ホールでの講演会には、区の予算がついて共催開催、4NPO企画。

④ HSBCコーポレート・サスティナビリティパートナーシップ事業 4年目の寄付事業。TOKYOPLAYと連携。旧東海道他品川でも広め、各地域で出来る人が開催。さらにこの事業が全都に広がっていくよう物品を寄贈することとし、TPとも相談し内容を検討する。

#### (5) きかくの広場 <智慧と工夫を持ち寄ろう>

おばちゃんち内外の声をよく聞き、やるべきことできるところがあれば始めていく。

## IV.行政、地域、他団体とのネットワーク

①にじっこコンサート(共催 にじっこコンサート実行委員会)6月30日(日) きゅりあん 出演:新沢としひこ・中川ひろたか・長谷川義史

②あそびうたフェスティバル(共催:あそびうたフェスティバル実行委員会)2020年2月11日(火) 荏原文化センター

③子ども・若者応援セミナー(共催:子ども若者応援ネットワーク)7月21日(日) 中小企業センター 西野博之

今年も総会前に、全スタッフ研修が行われました。おばちゃんちに関わる人たちが、一堂に集まる年に一度の大切な機会です。今回の研修は、おばちゃんちの事業担当ごとにグループになり、活動を船の運航になぞらえて【目的】【行先】【環境】【乗組員】【積荷】などについて考えて発表しました。同じグループの中でも日ごろ深く話す機会がないため、異なる視点からの意見もとても興味深く、内容の濃いワークショップになりました。

